

## 仕様伺書

対象形式：JARP2

お客様記入		弊社記入		営業部門	
形 式		JOB No.		承認	作成
貴 社 名		機 番	—		
お 名 前		営業担当			
注 番					

## ■ソフトウェアによる設定項目（プログラミングユニットにて設定変更可能）

項目名称	出荷時設定値	標準設定値	コメント
出力ゼロ周波数 -20kHz～出力スパン周波数未満まで	Hz	-1kHz	出力0%の周波数を指定して下さい。 設定可能桁数は、小数点を含めて5桁です。
出力スパン周波数 20mHz～20kHz まで	Hz	1kHz	出力ゼロ周波数より大きい値で出力100%の 周波数を指定して下さい。 設定可能桁数は、小数点を含めて5桁です。
警報モード	<input type="checkbox"/> 上限警報 <input type="checkbox"/> 下限警報 <input type="checkbox"/> 警報なし	警報なし	上限、下限警報を指定した場合には 以下の①②を指定して下さい。
①警報検出レベル (-5.00～105.00)	%	100.00%	警報を使用する場合は指定して下さい。
②警報検出レベルのヒステリシス (0.00～20.00)	%	1.00%	警報を使用する場合は指定して下さい。
電源ONディレイ時間 (2.0～1000.0)	s	3.0s	電源投入後、警報が作動するまでの時間を 指定して下さい。(精度±2s)

注) 出力周波数レンジは、本仕様伺書の出力ゼロ、スパン周波数範囲に対して、適切なレンジになる様に弊社で選択します。